

中宮浄水場更新事業の進捗状況について

浄水課

1. 政策等の背景・目的及び効果

中宮浄水場については、施設の老朽化が進み、耐震性が不足していることから、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的に供給できる浄水場とするため、令和3年（2021年）12月に事業者と契約締結し、DBO方式により更新事業を進めています。

工事については令和5年（2023年）1月の掘削工事着工から順次進めており、現在は構造物の築造を行っています。そのような中、令和6年（2024年）4月と令和7年（2025年）4月に事業者からインフレスライドについてそれぞれ書面による請求があり、それらの請求内容を精査し、変更額を算出したことから、進捗状況及び今後の予定を報告するものです。

2. 内容

(1) 工事について

工事については現在、概ね順調に進み、前処理施設や膜ろ過棟の躯体築造工事を進めているところであり、全体工事における出来高率は令和7年（2025年）12月末で約23%となっています。今後は、引き続き築造工事を進め、今年度中に前処理施設等のコンクリート打設工事を完了する予定です。



既設中宮浄水場 管理棟屋上から撮影した更新事業現場（令和7年12月撮影）

薬品貯蔵棟 (令和8年5月着手予定)

原水中の汚れを凝集させるためのPAC(ポリ塩化アルミニウム)などを貯蔵・注入する施設

膜ろ過棟

セラミック膜に水を通して汚れを除去する膜ろ過設備や中央操作室、施設見学等に使用する会議室などが入った施設



(躯体築造工事 施工中)

濃縮槽 (令和8年5月着手予定)

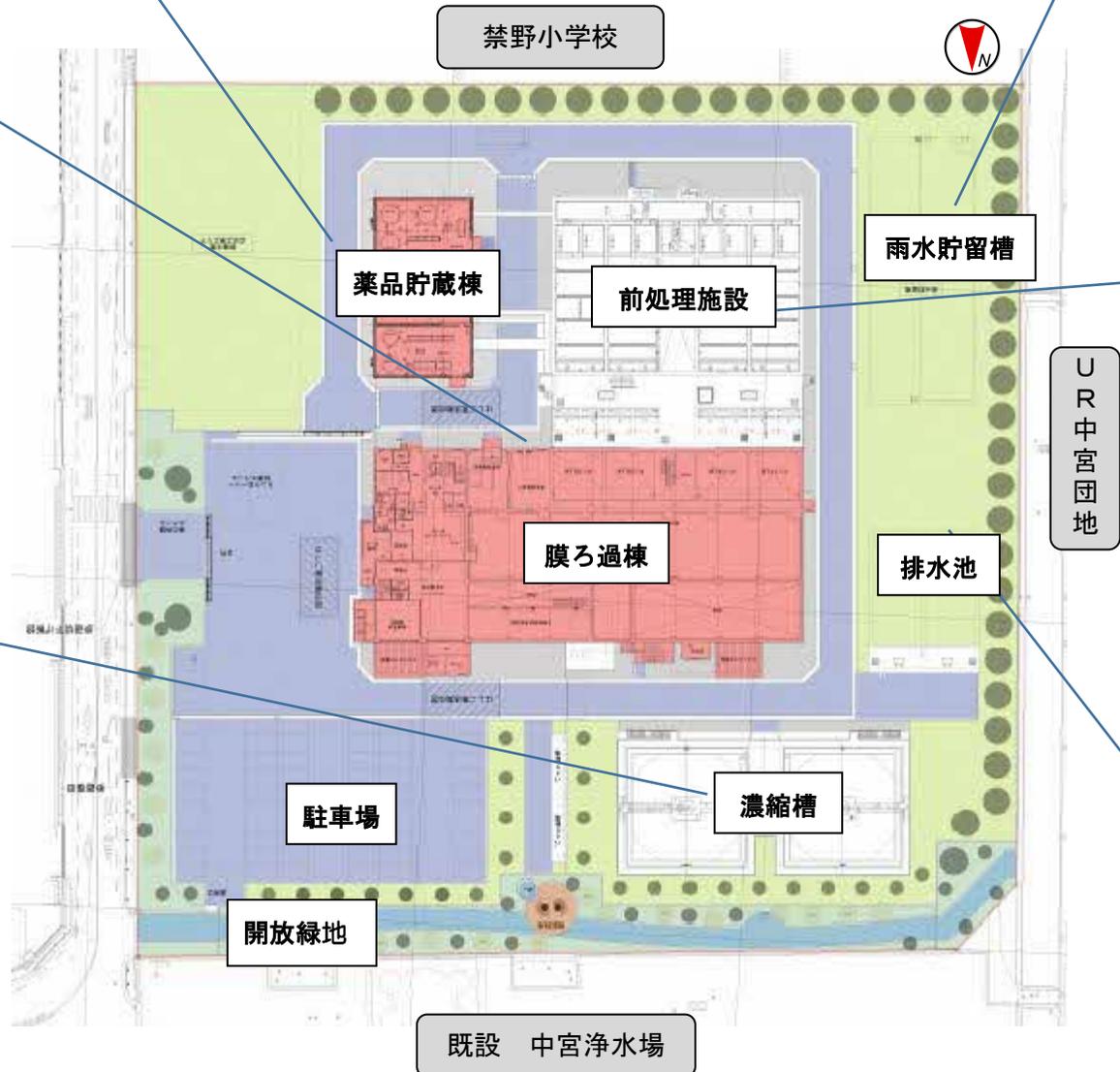
排水池、簡易除濁池、膜ろ過 洗浄排水の濁質分を濃縮させる施設

その他の工事

導水管の分岐工事(令和8年度金属探査等の工事着手予定)、場内配管工事、既存の高度浄水施設への連絡管整備工事(令和7年度金属探査等の工事着手予定)、既存の脱水機への送泥施設整備工事、北側開放緑地整備工事、外構工事等

中宮浄水場更新事業 各施設の進捗状況平面図

(令和7年12月末 出来高率:約23%)



雨水貯留槽

下流域の浸水被害を軽減するため、更新用地内に降った雨を一時的に貯留する施設



(躯体施工完了)

前処理施設

膜ろ過の前処理として、高濁時の汚れを分離・除去する簡易除濁池や、原水に溶け込んだマンガン除去するマンガン接触池などで構成する施設



(躯体築造工事 施工中)

排水池

処理工程で発生した汚泥水を一時的に溜め、大きな汚れを沈殿させる施設



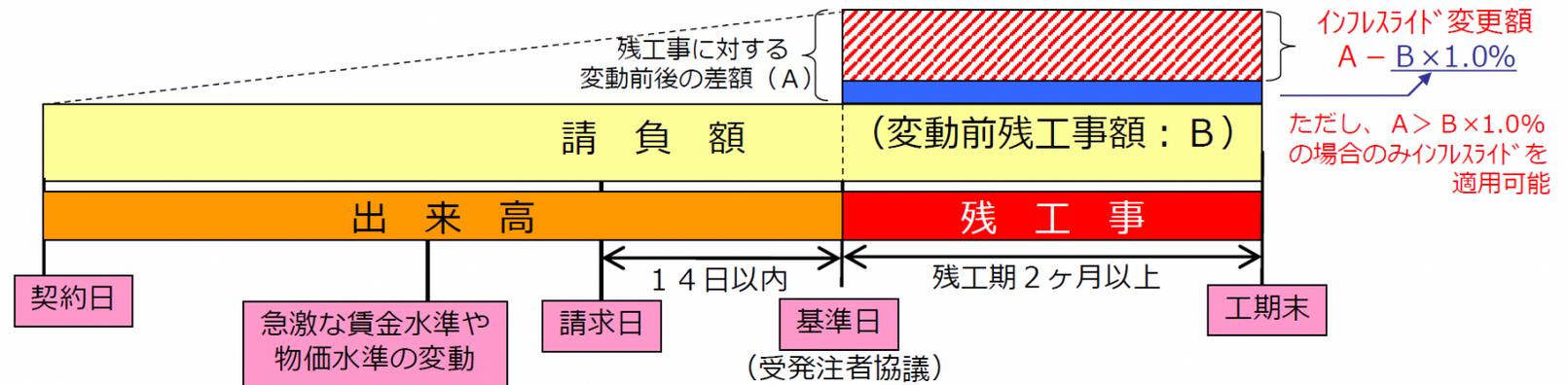
(躯体施工完了)

(2) インフレスライドの変更額の算出について

急激なインフレーション等の物価水準の変動に対応するインフレスライドについて、令和6年(2024年)4月と令和7年(2025年)4月のスライド請求に基づき精査を進めた結果、それぞれ約11億円(残工事費の8.5%増)と約5億円(残工事費の4.2%増)、合わせて約16億円のスライド変更額を算出しました。

今後、算出したスライド変更額を反映した補正予算の議決後、事業者との協議により変更額を確定させ、契約変更の手続きを進める予定です。

【インフレスライドイメージ図】
(国土交通省資料より)



3. 実施時期等

(1) 事業スケジュール

令和8年(2026年)	2月	建設環境委員協議会に進捗状況等を報告
	3月	補正予算提出(予定)
令和9年(2027年)	7月～	試験運転、一部通水開始
令和10年(2028年)	3月	更新工事完了予定
	4月～	全面運用開始

4. 総合計画等における根拠・位置付け

- (1) 総合計画 基本目標：5. 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
 施策目標：26. 安全で良好な生活環境が確保されたまち

(2) 水道ビジョン2022

安全ー〈水道水質のさらなる向上〉

強靱ー〈水道施設等の適切な維持管理〉 〈水道施設等の計画的な更新と耐震化〉

持続ー〈施設更新の適正化〉



5. 関係法令・条例等

水道法、地方公営企業法

6. 事業費・財源及びコスト

令和7年度（2025年度）3月補正予算に提出予定の事業費

（インフレスライド及び国庫補助金の金額を反映し、以下のとおり組み替え）

《事業費》 中宮浄水場更新事業及び浄水施設運転維持管理業務等委託（設計・建設工事）

令和4年度（2022年度）～令和9年度（2027年度） 継続費

19,350,000千円

《財 源》	企業債	: 10,350,000千円	国庫補助金	: 861,320千円
	他会計出資金	: 2,531,800千円	建設改良積立金	: 4,900,000千円
	損益勘定留保資金	: 706,880千円		